

日本独自に開発した技術により血球計数の真の自動化を開拓

登録番号	第 00264 号		
登録年月日	令和元年9月10日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	自動血球計数装置 CC-1001
所在地	兵庫県神戸市
	シスメックス株式会社 ソリューションセンター
所有者 (管理者)	シスメックス株式会社
製作者(社)	東亜医用電子株式会社 (現：シスメックス株式会社)
製作年	1963年
初出年	1963年
選定理由	100年近く続く顕微鏡を使った計算盤による目視の血球算定方法から、日本で自動測定を目指した自動血球計数装置である。米国で既に別方式の装置が開発されていたものの、細孔通過時に電極間に高周波を加えながら微小な静電容量変化を検出する世界初の独創的技術により高精度な血球計数装置を開発し、真の自動化の幕開けとなった。装置販売だけでなく「正しい計数結果をお届けする」というフィロソフィーのもと、必要な試薬や測定ノウハウなど、研究の成果や使用者の声を載せた会報誌も同時に提供し全国に浸透させていった。今日の飛躍的に拡大した臨床検査領域の発展に顕著な役割を果たした装置として重要である。
登録基準	ーイー（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの）

公開・非公開	公開
写真	
その他参考となるべき事項	